

スポンサードシンポジウム

最先端フェムテックを活用 したメンズヘルス治療

2023年 9月10日 日
13:25~14:25

B会場 早稲田大学早稲田キャンパス7号館

座長

順天堂大学大学院医学研究科 泌尿器外科学 教授

堀江 重郎 先生



SS-1

医療法人圭成会 大分泌尿器科病院 理事長

宮内 聡秀 先生

Fotona laserによるEDとAGAに対する治療

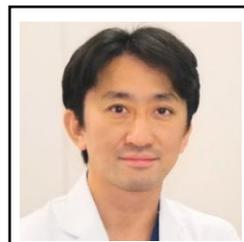


SS-2

医療法人社団幸真会 皆川クリニック 理事長

皆川 真吾 先生

HITS™高強度テスラ磁気刺激装置
StarFormer®治療による排尿機能への効果



共催 第23回 日本メンズヘルス医学会・Fotona Japan株式会社・TMKメディカル株式会社

本セミナーで紹介の
最新治療情報サイト



第23回 日本メンズヘルス医学会

2023年9月10日(日) 13:25-14:25 B会場 早稲田大学早稲田キャンパス7号館
スポンサードシンポジウム

最先端フェムテックを活用したメンズヘルス治療

座長 堀江 重郎 先生

順天堂大学大学院医学研究科 泌尿器外科学 教授

SS-1 Fotona laserによるEDとAGAに対する治療

医療法人圭成会 大分泌尿器科病院 理事長 宮内 聡秀 先生

当院は2018年12月よりEr: YAGと、Nd: YAGの2波長のレーザーを1台に搭載したFotona社のFotonaSmooth® SP dynamisを導入した。このレーザーは各波長のパルス幅が可変で モードの使い分けにより切開、蒸散、凝固、深部温熱、細胞活性、色素病変の治療など診療科の領域を超えて多くの疾患を治療することができる。ED(勃起不全)はメンズヘルスにおいて非常に重要な問題であり、日本でのEDの有病率は34.5%と高く、年齢とともに増加する。原因には、器質性(血管障害および神経障害)、心因性(心理的)、薬剤性(利尿薬、β遮断薬、Ca blocker、抗うつ薬、5α還元酵素阻害剤など)に分類されており、治療は薬、器具、磁気療法、低強度体外衝撃波やレーザーなど、さまざまな治療法があり、少数ではあるが血管性EDの患者を治療し改善を得られた。

Smooth modeと呼ばれるEr:YAGのnon ablative modeは組織を“温める”ことで組織の血流改善とコラーゲンや血管新生の再合成により、発毛にとって極めて重要な頭皮・毛根のコンディションを改善することが可能であり、Er:YAG laserによるAGA治療を行っている。本シンポジウムにおいてはED・AGAでの治療経験と最新のなどについて発表する。

宮内 聡秀(みやうち・としひで)先生 日本泌尿器科学会専門医

2003年 大分医科大学(現大分大学)医学部卒業 九州大学医学部泌尿器科学教室入局 九州大学医学部付属病院勤務
2004年 独立行政法人別府医療センター勤務
2005年 大分泌尿器科病院勤務
2008年 日本泌尿器科学会専門医取得
2012年 大分泌尿器科病院副院長 AMS社認定PVPTトレーナー取得
2017年 インテグラル社認定CVPTトレーナー取得
2018年 医療法人圭成会 理事長 大分泌尿器科病院 院長
2020年 EDAP社認定トリウムレーザーマエストロ取得
2023年 Boston Scientific社 Rezum Center of Education in APAC /Teleflex社 Urolift指導施設

SS-2 HITS™高強度テスラ磁気刺激装置StarFormer®治療による排尿機能への効果

医療法人社団幸真会 皆川クリニック 理事長 皆川 真吾 先生

尿失禁は男女問わずQuality of Life(QOL)を大きく損なう症状で、特に女性は年代を問わず60%程度の割合で何らかの失禁を経験しているが、男性も40歳以上では10%台程度の割合で失禁を自覚しているとされる。過活動膀胱に伴う失禁には主にβ3作動薬や抗コリン薬による内服治療やボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法が保険適応治療として一般的である。また女性の腹圧性尿失禁にはクレンブテロールが唯一の保険適応薬であり、改善されない場合はメッシュを用いたスリング手術などが保険適応治療である。一方で内服薬による副作用やメッシュ手術に伴う合併症が問題である。HITS™(High Intensity Tesla magnetic Stimulation)高強度テスラ磁気刺激装置StarFormer®は最大2.5テスラの磁気強度で骨盤底と腰仙骨部を刺激することで骨盤底筋トレーニングと神経変調療法の効果を発揮する。StarFormer®の磁気刺激はEMS機器による電気刺激と異なり、深部まで刺激が伝わるため骨盤内の血流増加を促す。日本国内では自費診療となることが唯一の難点であるが、低侵襲で簡単に尿失禁治療が可能となり、神経変調療法効果による過活動膀胱症状の軽快や、その他便失禁や慢性前立腺炎、慢性骨盤痛症候群、ED改善などさまざまな効果が示されている。また、着衣のまま座るだけという簡便さと合併症の少なさが大きな利点であり、良好な治療成績が示されている。さらに、腰筋群や殿筋群、大腿筋等を鍛えることが可能であり、フレイル予防効果も期待できる。当院でのStarFormer®治療の経験と主に尿失禁治療の成績について解説する。

皆川 真吾(みながわ・しんご)先生 医学博士 日本泌尿器科学会専門医・指導医

2001年	秋田大学医学部 泌尿器科	2004年	虎ノ門病院 泌尿器科
2006年	NTT東日本関東病院 泌尿器科	2009年	聖路加国際病院 泌尿器科
2012年	東京腎泌尿器センター大和病院 泌尿器科	2014年	行徳総合病院 泌尿器科
2020年	医療法人幸真会 皆川クリニックを開設 Fotona インティマレーザーを導入	2021年	Fotona スターフォーマープロを導入